

No.77

# 会 報

1996 (平成8) 6月15日 Shizuoka Consulting Engineers Association 静岡県技術士協会

事務所 〒421-12 静岡市牧ヶ谷 2078 (社) 静岡県産業技術協会内 (TEL 054-278-3611 FAX 054-278-3613)

会 長：伊藤 和美 専務理事：石川 正人

編集担当者 海野 泰一 金澤 啓悟 森 稔夫

振込口座：静岡銀行 登呂支店 普通預金 0340870 静岡県技術士協会 会計担当 寺田 洋子 (054-285-0549)

## 1996-97年度静岡県技術士協会役員改選



会 長  
伊藤 和美



専務理事  
石川 正人



常務理事・会計担当  
寺田 洋子

### 会長就任にあたって

伊藤 和美

この度、はからずも乾前会長の後をうけ、静岡県技術士協会第16代会長に選任され、私といたしまして、誠に身にあまる光栄でありますとともに、30年の伝統ある協会の運営を考えますと、責任の重大さに身が引き締まるのを感じざる得ません。今回、同時に選ばれた副会長、役員、理事の方々、会員の皆様の御指導御鞭撻をいただきながら、協会発展のために、最善の努力を尽くす所存でございます。

先の2年間、協会創立30周年記念事業をはじめ、例会の開催から多くの事業の実施に鋭意努力をされ、静岡県技術士協会の発展に寄与されました、乾前会長はじめ役員、理事の方々に誌上をお借りして、敬意と感謝を申し上げる次第です。

また、会員各位の高度の技術は、関係する職場で期待され、大変影響効果も大きく多大な実績をあげてこられております。

現今の社会の状況は、政治、経済等、必ずしも私共が望むような情勢ではありません、このような状況の下で、私共技術士によせる期待は大きなものと思います。期待されるのみでなくこの期待に応えることが私共の責務と思えます。

会員の方々も、自営されておる方、企業内で活躍されておる方など形態は多種多様ですが、技術士一人が輝くのではなく技術士の関連している業務、またそれに携わる方々が輝くのでなければ真の意義は無いのではないでしょう。ややもすると、一匹狼的な存在になりがちですが、これは避けなければなりません。

技術は日進月歩から、秒針日歩の急速に進化するなかで、技術革新のかような情勢の下で、常に社会の情勢を反映させた技術コンサルタントを確立してゆくには、現今の情報化時代の環境下では、並大抵の努力では成し得ないでしょう。会員相互に情報交換し切磋琢磨し研鑽する集団にし、さらに成長しなければ、技術士の存在の社会的意義はないと確信しております。

本年は定められた行事も特にありませんので、会員がお互いに知識・技術をより高め本会の活動を充実させるとともに、新規会員の獲得、特に技術士を目指して努力されている「技術士補」の方の協会入会を促し、活性化し社会的認識度を高める努力を微力ではありますが、力を注ぎたいと考えております。

これがまた、私共技術士に見返りとして恩恵を受けるのではないのでしょうか。もうそこまできている21世紀にむけて力強くはばたく！ 静岡県技術士協会に、皆さんで夢を託くそうではありませんか。

技術士制度がより広く活用され、職場、地域社会の技術推進に寄与できますように、本協会の活

動の充実発展に向けて、努力をいたす所存で御座います。何卒宜しくご協力、ご支援を賜りますようお願い申しあげまして、会長就任のご挨拶いたします。

平成8年4月

### 1996（平成8）年度静岡県技術士協会の総会開催

平成8年度総会が4月26日（金）静岡市内サンパレスホテルにて会員45名の出席のもとに開催され決算報告、予算について審議され、その後1996年～1997年の役員推薦があり、会長に伊藤和美氏、専務理事に石川正人氏、会計担当専務理事に寺田洋子氏が決定されました。（担当：中部地区）その他の役員は下記の通りです。

総会は議案どおり可決され、和やかなうちに終了しました。つづいて、身延山短期大学教授・毘沙門天山主 高橋亮昭先生の講演の後場所を変えて、懇

親会が和気あいあいのうち、石川専務の司会のもとに、伊藤会長の挨拶後、川村会員の差し入れによる吟醸酒により乾杯と続きました。

そして、新会員金原、高尾両氏の自己紹介には会員の皆様から盛大な歓迎の拍手がありました。

その後懇親会では仕事の話、久しぶりにあった会員相互の談話に花を咲かせて約2時間後、副会長渡邊佐一郎氏の音頭で会を閉じました。



会 長	伊藤 和美	
副会長	渡邊佐一郎	望月 圭祐
専務理事	石川 正人	
常任理事		
会計担当	寺田 洋子	
会報担当	海野 泰一	金沢 啓悟
	森 稔夫	
監 事	木村 芳正	笠井 裕司
理 事		
[東部]	安間 莊	稲葉 弘之
	漆畑 八三	久保嶋勝巳
	桜 賢三	山本 正男
	鷺山 裕厚	
[中部]	河村伝兵衛	平尾 素一
	松原繁左右	守谷 文二
	柳沢 敏行	吉沢 淳

[西部]	高柳 剛	宮野 正克
	藤田 欣一	藤原 正臣
	伊藤 壽洋	神立 信
	松本 文雄	梅原弘二郎

顧 問	乾 昇	金沢 徹
	加藤 幸男	渡辺 三義
	吉永 勝也	竹花 健
	蓮池 昇	清水 康夫
	鈴木 仁	名取 友一

名誉会員	高塚 明経	久米松太郎
	水谷 一夫	鶴田 三男
	阪倉 康男	禰津 武雄
	平松 正市	平松 金一
	絹村 薫	金子 信一
	高野 克己	

☆☆☆☆ 2年間御苦勞様でした☆☆☆☆



前会長  
乾 昇



前専務理事  
望月 圭祐



前常務理事・会計担当  
伊藤 壽洋



前常務理事・会報担当  
斉藤 和夫



前常務理事・会報担当  
松本 文雄

静岡県技術士協会第15代乾会長在任期間には、協会創立30周年記念事業が執り行われました。3役の方には準備期間を含め丸1年の長期間にわたって企画から式典等の細部にわたって絶大なるご尽力を頂き、おかげさまで盛大かつ成功裏に記念事業が挙行されました。事業の一貫として発刊された創立30周年記念誌は、まさにご苦勞の結晶と申せましょう、また本協会のPRにも積極的に取り組まれ、社会的認識度も高まりつつあります、この2年間本当にご苦勞さまでした。

平成8年度 行事予定

回	担当地区	月 日	内 容
1	東 部	7月10日(水)	横浜 清水建設現場RC横浜ビル(仮称) / 全天候型ビル自動施工(スマートシステム)
2	西 部	9月3日 or 4日	農業試験場バイオ関係を予定
3	中 部	10月23日 or 24日	東海パルプ or 焼津水産加工センター
4	西 部	12月11日(水)	忘年会を兼ねて実施、場所未定
5	東 部	2月14日(金)	フジ写真フィルム(富士宮市)依頼済み

ご案内は、その都度いたします。 皆さんの一人でも多くの参加を！  
 なお、今年度より、不参加の方の連絡は不要としましたのでご承知おきください。  
 (都合により総会の内容と担当地区、実施日が異なります。)

1996年度

静岡県技術士協会

日本技術士会中部支部東分科会

定時総会

日時 1996年4月26日(金) 15:00～

場所 静岡市 サンパレスホテル

1996年度定時総会議案書

- 第1号議案 1995年度事業報告
- 第2号議案 1995年度決算報告
- 第3号議案 名誉会員推戴の件
- 第4号議案 役員改選の件
- 第5号議案 1996年度事業計画案
- 第6号議案 1996年度収支予算案
- 第7号議案 その他

第1号議案 1995年度事業報告

1. 事業の概況

1995年度の国内情勢は、景況いまだ離陸するにいたらず、政治面、金融面のほか、治安面でも過去に例の少ないくらい不安定に、深刻に推移し、加えて製造業では生産の海外シフトが日毎に拡大れ、企業の経営は否応なしに圧迫された年でありました。

しかしわが協会は、輝かしくも本年創立30周年を迎え、盛大な記念事業を行なうをえて、加えて年度当初から13名に及ぶ新入会員を迎え、150名に及ぶ、名実ともに歴史ある技術者集団に成長を遂げるにいたりました。

事業面では、95年10月創立30周年記念事業として、記念式典並びに記念誌の発行が行なわれ、式典では、80名に及ぶ会員の出席のもとに、参議院議員竹山 裕先生をはじめ関係官庁、関係団体から多数の来賓のご出席を戴き、ご懇篤なるお言葉を戴きました。また、記念講演として元南極越冬隊長鳥居鉄也先生のご講演を戴き、会員に深い感銘と新しい認識を与えられました。

当協会の普及宣伝に関しては、95年6月浜松商工会議所の主催する「ハイテク浜松95」において技術相談コーナーを受託し、技術相談に応ずると共に技術士制度の普及啓蒙も併せて行ないました。また昨年度全理事により、県下町村等に当協会の宣伝を行ないましたが、その効果の持続を企図して、会

報の発行の都度約30箇所について会報の贈呈を継続して行なって参りました。

対外事業の受託事業については、本年度は、昨年度にまして新居町、龍山村および競艇企業団から調査、研究、指導等の事業を受託することができました。啓蒙宣伝活動の効果のあらわれと評価できると共に、当協会の財源の拡大、強化に途を付け、設立の主旨に沿う活動を推進できたものと判断いたします。

総会、例会、役員会、地区ブロック会合など、諸会合は例年のペースで、随時行われ、次世代生産システム研究会も着実に回を重ね、会員の研鑽に寄与してまいりました。

以上のように1995年度の事業は、一定の成果を得ながら大過なく行なわれて参りました。これは、会員一致協力の賜物と評価さるべきでありましょう。

2. 会員の状況

(1) 会員

1995年4月1日現在

会員数 144名 賛助会員 13社  
年度内入会者：12名 年度内再入会者：1名  
年度内退会者：7名

1996年3月31日現在

会員数 150名 賛助会員 13社

(2)入会者(再入会者を含む)(順序不同)計13名

橋本 金治 羽切 道雄 藤井 狷介  
山之上 誠 浅野 龍雄 鈴木 千春  
渡邊 定元 鈴木勝太郎 松影 泰三  
風間 敏光 富野 章 小杉思主世  
松下 賢庸(再)

(3)退会者(順序不同)7名

辻 英夫 徳永 勝彦 本領 泰弘  
栗田 英夫 毛利 宏  
瀧口 定一(物故) 秋山 諄一(物故)

(4)休会者(順序不同)2名 新規休会者なし

荒野 吉吉也 白井 五郎

3. 総 会

日 時 95年4月25日(火) 15:00

会 場 静岡市 サンパレスホテル

議 案

- 第1号議案 1994年度事業報告
- 第2号議案 1994年度決算報告
- 第3号議案 1995年度事業計画案
- 第4号議案 1995年度収支予算案
- 第5号議案 理事、監事選出の件
- 第6号議案 中部地区選出副会長承認の件
- 第7号議案 名誉会員推薦の件

出席者 75名 内委任状28名

記念講演 「万葉時代の静岡県」

静岡県立大学

国際関係学部教授 高木 桂藏 氏

4. 30周年記念行事

日 時 95年10月26日(木) 14:00

会 場 静岡市 クーボール会館

内 容 式典 14:00~15:00

記念講演 15:00~16:30

演題「極地から学ぶ-21世紀の展望-」

講師 財団法人日本極地研究振興会

理事長 鳥居 鉄也 氏

記念懇親会 16:45~18:15

参加者 来賓 20名

会 員 79名

5. 例 会

(1)6月例会

日 時 95年6月23日(金) 14:00

参加者 25名

内 容 中日新聞社東海本社見学と講演

「新聞編集のあれこれ」

同新聞社編集局次長 五十川 仁達 氏

懇親会 浜松市 割烹「呉竹荘」

(2)9月例会

日 時 95年9月29日(金) 14:00

参加者 24名

内 容 旭テック株式会社本社工場見学と講演

「我が社の水処理装置」同社勤務

会 員 三谷 久夫

懇親会 掛川市 イーグルホテル2

(3)12月例会

日 時 95年12月15日(金) 14:00

参加者 26名

内 容 浜松市楽器博物館見学と講演

「浜松市音楽振興施策の紹介」

浜松市 文化振興部音楽振興課長

山内 修身 氏

(4)2月例会

日 時 96年2月16日(金) 15:00

参加者 27名

内 容 講演「規格とSI単位」

東海大学海洋学部教授 福江 正治 氏

懇親会 静岡市 クーボール会館

6. 常任理事会

(1)第1回常任理事会

日 時 95年6月19日(月) 18:00

会 場 浜松駅ビル サントリー館

議 題 中部支部の総会報告

徳永委員の後任委員の選出

30周年記念行事について

(2)第2回常任理事会

日 時 95年10月5日(木) 18:00

会 場 浜松市アクトシティ交流研修センター

議 題 PL保険業務の技術援助について

30周年記念行事の経過について

会報の編集について

(3)第3回常任理事会

日 時 96年3月7日(木) 18:00

会 場 浜松市アクトシティ・コンgresセンター

議 題 96年度総会議案について

業務受託規定の制定について

30周年記念行事について

7. 理事・役員会

(1)第1回理事・役員会

(30周年記念行事に関する役員・実行委員会合同

役員会と併合)

日 時 95年7月14日(金) 15:00

会 場 清水市 建設コンサルタントセンター

議 題 理事選任、常任理事選任の件  
その他

(2)第2回理事・役員会

日 時 96年4月6日(土) 17:00  
会 場 静岡市 東海軒会館  
議 題 96年度総会議案審議  
業務受託規定の審議  
その他

8. 地区ブロック会合

(1)東部地区

◎日 時 96年1月26日(金)  
会 場 沼津市 沼津軒  
参会者 東部地区会員 21名  
議 題 次年度役員候補の審議  
例会候補について

(2)中部地区

◎日 時 96年3月19日(火)  
会 場 静岡市 味楽天  
参会者 中部地区会員 17名  
議 題 次年度役員候補の審議  
例会候補について

(3)西部地区

◎日 時 95年4月17日(月)  
会 場 浜松市 サンピア浜松  
参会者 西部地区理事・役員 9名  
議 題 ハイテク浜松への参加について  
準備ならびに出役の決定  
◎日 時 96年3月28日(木)  
会 場 アクトシティ 浪漫館  
参会者 西部地区会員 8名  
議 題 次年度役員候補の審議  
例会候補について

9. 会報の発行

第74号 95年6月26日  
第75号 95年9月29日  
第76号 96年1月1日  
30周年記念誌発行

10. 次世代生産システム研究会

第5回(通算15回)

日 時 5月14日(日) 13:30  
会 場 三島市 市民文化会館  
テ ー マ 「健康な高齢者がマルチメディアに望む  
こと」

講 師 会員 加藤 幸男

第6回

日 時 7月30日(日) 13:00  
会 場 浜松市 静岡県マルチメディアセンター  
テ ー マ 見学ならびに活用検討会

第7回

日 時 9月24日(火) 13:30  
会 場 静岡市 静岡県女性総合センター  
テ ー マ 南米チリDA活動報告とチリの社会事情  
講 師 会員 佐藤 仁一

第8回

日 時 11月3日(日) 13:30  
会 場 三島市 文化会館  
テ ー マ コミュニケーションシステム  
パソコン一人一台時代にどう対応するか  
講 師 会員 池山 昭夫

第9回

日 時 1月21日(日) 13:30  
会 場 浜松市 青年婦人会館  
テ ー マ ヨーロッパ先進国の産業技術と社会福祉  
講 師 元オーリンズ・レーシング会社  
副社長 飯尾 俊光 氏

第10回(通算20回)

日 時 3月24日(日) 13:30  
会 場 静岡市 静岡県女性総合センター  
テ ー マ マルチメディアの普及と社会的貢献  
講 師 会員 松本 文雄

11. 事 業

(1)調査、研究、検査、指導等の業務の受託  
☆新居町から、平成7年度新居町広域下水道工事の  
監理全般の指導を受託し、渡邊佐一郎会員に委託実  
施した。 出役日数 延べ5日  
☆浜名湖競艇企業団から、サンマリブリッジ建設  
事業の監査に係わる指導を受託し、伊藤和美会員に  
委託実施した。 出役日数 延べ4日  
☆龍山村から、岩明地区の飲料水供給施設の改善の  
ための調査・研究を受託し、渡邊佐一郎会員に委託  
実施した。 出役日数 延べ9日  
☆龍山村から、平成8年度事業として、7年度に続  
いて他地区の飲料水供給施設の改善のための調査研  
究並びに設計の業務の引き合いを受け、事務処理中  
である。  
(2)ハイテク浜松の技術相談コーナーの受託  
浜松商工会議所から、イベント「ハイテク浜松9  
5」における技術相談コーナーの運営を受託し、延  
べ10名の西部地区会員が無償奉仕で資料調整もし  
くは出役し、技術相談に応じた。

ハイテク浜松95の内容

会期 '95. 6月1日～3日  
 会場 浜松市総合産業展示館  
 出展 ハイテク製品を中心に88社  
 参観者 7万人

相談コーナーの内容

出役者 会長以下延べ9名・日  
 配布、展示資料 技術士受験関連図書  
 出版案内パンフ

技術士会&当協会発行PRパンフ; 200部  
 技術相談件数 5件  
 技術士制度関係相談 10件

(3)地方公共団体への協会PR

前年度各地区において巡回、面接して当協会を認識して戴いた方々に、会報発行の都度会報を送付、延べ148に及ぶ。

(4)静岡県環境保全協会への協力

顧問、会長等が役員会、総会に出席。  
 役員会

5月11日 静岡市クーボール会館  
 9月15日 静岡市もくせい会館  
 1月19日 ホテルシティオ静岡ターミナル

総会

5月30日 静岡市クーボール会館

12. 日本技術士会中部支部への協力

☆定時総会

5月28日 名古屋市民会館  
 伊藤和美副会長出席

☆主幹事会

(支部長、4県会長、会計の6名で構成)  
 乾会長出席

4月22日 名古屋都ホテル  
 7月24日 名古屋中部科学技術センター  
 10月29日 名古屋都ホテル  
 2月27日 同上

☆幹事会

4月9日 名古屋観光会館  
 乾会長、伊藤副会長出席  
 5月28日 名古屋ユニケミー東館  
 伊藤副会長出席

9月9日 名古屋中小企業振興会館  
 乾会長、伊藤副会長出席

12月9日 名古屋千種会館  
 乾会長、伊藤副会長出席

3月16日 名古屋中小企業センター  
 乾会長、伊藤副会長出席

☆技術士試験新合格者説明会

3月17日 名古屋毎日ビル国際サロン  
 乾会長出席

第2号議案 1995年度決算報告

(1) 一般会計の部

科 目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
前年度繰越	159,033	159,033		
賛助会費	130,000	130,000		
中部東分科会還付金	56,800	66,400		
人会金	20,000	40,000		
年会費	816,000	852,000		
会合費	1,300,000	822,000	1,450,000	876,823
研究会費			120,000	60,000
事業費	300,000		270,000	1,426,206
負担金			100,000	120,000
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			200,000	145,231
印刷費			100,000	102,875
通信費			200,000	199,035
雑収入/雑費	285,367		220,000	338,046
特別会計より繰入	32,800			
30周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
次年度繰越			220,000	354,520
計	3,100,000	2,069,433	3,100,000	3,842,736

(2) 30周年記念事業基金会計の部

科 目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
前年度繰越	648,349	648,349		
一般会計からの繰り入	100,000	100,000		
実行委員会に払出			748,349	748,349

科目「支出」の金額は

'95年4月26日30周年記念事業実行委員会に移管

(3) 基金特別会計の部

科 目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
還付金	56,800	66,400		
研究会費			18,800	22,400
会合費			19,000	22,000
会報発行費			19,000	22,000
合計	56,800	66,400	56,800	66,400

(4) 中部東分科会会計の部

	科 目	予 算	決 算
基金の部	前年度繰越	2,000,000	2,000,000
	本年度増減	0	0
	合 計	2,000,000	2,000,000
利息の部	取 入	32,800	20,601
	一般会計へ繰り入れ	32,800	20,601
	残 高	0	0

会計監査報告

1995年度の決算について、諸帳簿及び関係書類を精査の結果、正確・適正であることを認める。

1996年4月7日

会計監事 渡辺佐一郎  
石川 正人

第3号議案 名誉会員推戴の件

以下の2名の会員を規約第6条の規定により、名誉会員として推戴することの承認を求め(順序不同)

金子 信一 会員(1921. 2. 12生)  
高野 克己 会員(1921. 3. 20生)

第4号議案 役員選出の件

次期'96,'97年度役員を次のとおり推挙し、承認を求め(順序不同)

会 長 伊藤 和美  
副会長 渡辺佐一郎 望月 圭祐  
専務理事 石川 正人  
常任理事  
会計担当 寺田 洋子  
会報担当 海野 泰一 金沢 啓悟  
森 稔夫  
監 事 木村 芳正 笠井 裕司  
理 事  
[東部] 安間 莊 稲葉 弘之  
漆畑 八三 久保嶋勝巳  
桜 賢三 山本 正男  
鷺山 裕厚  
[中部] 河村伝兵衛 平尾 素一  
松原繁左右 守谷 文二  
柳沢 敏行 吉沢 淳  
[西部] 高柳 剛 宮野 正克  
藤田 欣一 藤原 正臣  
伊藤 壽洋 神立 信  
松本 文雄 梅原弘二郎

顧問 乾 昇

(参考)

顧 問 金沢 徹 加藤 幸男  
渡辺 三義 吉永 勝也  
竹花 健 蓮池 昇  
清水 康夫 鈴木 仁  
名取 友一  
名誉会員 高塚 明経 久米松太郎  
水谷 一夫 鶴田 三男  
阪倉 康男 棚津 武雄  
平松 正市 平松 金一  
絹村 薫 金子 信一  
高野 克己

第5号議案 1996年度事業計画案

静岡県技術士協会は、31年の歴史と先輩諸氏の弛まぬ努力の結果、会員数も150名と増加し、21世紀に向けて着々と力強く歩んでいる、このパワーを地域社会発展に寄与する協働作りに努力する。

通常事業にあたっては、技術士の認識度をより高めるため未加入者、新規合格者、技術士補の勧誘を図り会員の増強を図る一方、会員の業務伸長を推進するため行政機関、関係諸団体等とより密接な関係を保ちながら、会員相互の研鑽を深め、会員の連携を高めるため次の活動を行なう。

1. 静岡県技術士協会の認識度の高揚
  - (1) 地方公共団体、地域各種団体に積極的にPRの輪を拡げる。
  - (2) 地方公共団体、地域各種団体に継続的にPRを行なう。
2. 業務の開拓
  - (1) 地方公共団体、地域各種団体へのアクションの強化(海外技術指導も含めて)
  - (2) 会員相互の協力による業務開拓の推進。
3. 関係団体との連携
  - (1) 日本技術士会との交流
  - (2) 静岡県産業技術協会との連携強化。
4. 組織の強化
  - (1) 未加入者の積極的な勧誘を行ない、会員の増強拡大に努める。
  - (2) 例会、会報の充実により、会員の結束を強化する。



5. 会合

(1) 総会、例会を含めて6回

総会 4月下旬

例会 6月：西部 8月：東部 10月：中部  
12月：西部 2月：東部

(2) 役員会

常任理事会、理事会・役員会、地区理事会を随時開催する。

(3) 地区ブロック会合

随時開催する。

6. 会報の発行

発行：年4回 6, 9, 1, 3月

内容：外に向かって開かれた部外者でも参考になる、興味を持てる紙面を目指す。論文、意見、報告、解説、随想等会員投稿の拡充。技術会、業界エピソード。行事の報告、予告。会員消息。事務連絡等々。

(2) 40周年記念事業基金会計の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
一般会計からの繰り入		100,000		0
合 計		100,000		0

(3) 基金特別会計の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
還 付 金	66,400	56,800		
研 究 会 費			22,400	18,800
会 合 費			22,000	19,000
会 報 発 行 費			22,000	19,000
合 計	66,400	56,800	66,400	56,800

第6号議案 1996年度収支予算案

(1) 一般会計の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
前 年 度 繰 越	159,033	354,520		
賛 助 会 費	130,000	130,000		
中部東分科会還付金	66,400	56,800		
入 会 金	40,000	50,000		
年 会 費	852,000	906,000		
会 合 費	822,000	830,000	876,823	1,000,000
研 究 会 費			60,000	60,000
事 業 費	1,559,626	1,000,000	1,426,206	1,000,000
負 担 金			120,000	70,000
事 務 所 運 営 費			120,000	120,000
会 報 発 行 費			145,231	140,000
印 刷 費			102,875	90,000
通 信 費			199,035	170,000
雑 収 入 / 雑 費	193,076	102,680	338,046	310,000
基金特別会計より繰入	20,601	20,000		
30周年記念事業へ繰入				
30周年記念事業補填金				235,156
40周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
次 年 度 繰 越			354,520	154,844
計	3,842,736	3,450,000	3,842,736	3,450,000

(4) 中部東分科会会計の部

科 目		予 算	決 算
基金の部	前 年 度 繰 越	2,000,000	2,000,000
	本 年 度 増 減	0	0
	合 計	2,000,000	2,000,000
利息の部	収 入	20,601	20,000
	一般会計へ繰り入れ	20,601	20,000
	残 高	0	0

第7号議案 その他

以上



## 総会記念講演 『思いやりの心』

身延山短期大学教授

毘沙門天 山主 高橋 堯昭 先生

### 乾会長より先生の紹介

先生は、皆様ご存知の毘沙門天で一番偉い人で、又静岡山梨両県のロータリークラブのガバナーをやっており、大変お忙しい方です。本日は我々技術者にとっても参考となる世界のお話が聞けるかと思えます。



### 講演要旨

技術と言いますと、ソケットのことも解らない人で御座います。今日は皆様方の世界と異なりまして、私は東西文化の交流比較と言うものについてやっております、インド、パキスタンに40回ほど、アフガニスタンに14回ばかり行ってきております。

パキスタンなどでは、色々な事が大変遅れておまして、農業なども牛に木の根を引っ張らせて抜き、そこに蕎麦の種を蒔く、そんなやり方です。日本からヒマラヤの方へは農業の指導に行っている人がいたり、機械を売ったりする人がおります。なかなか貧しいために、機械などを買ってもお金を払わない、パーツを隠したりして不具合などと云って、延ばしたりしています。

30年ばかり前、チグリス、ユーフラテス流域に行ったが、大変な所で川から畳位の大きさの草魚がとれる。これを焚火にかけて塩をかけて食う。冷えてしまうと堅くなってどうにもいただけません。いつか三笠宮さまと旅先で一緒になり、私がこの魚をよく食べていたのをご覧になっていたのか、その後熱海のMOA美術館のオープンの時お会いし“あの魚をよく食べた方ですね”と言われた事があります。その他この地方では羊の肉を良く食べています。ガバナーは大変忙しい仕事で、休みがありません。ある川柳の大家の方が“無理をさせ、無理をするなど、無理を云い”と云っております。

さて、インドでは、お金持ちは働かない、労働を卑しいものと考えている。ステッキを持ち、マントを着ているのは、大地主の階級の人。中小地主は少しは働くようになる。そのためマントでは働けないのでズボンをはくようになった。最高位のパラモン人はパンを食べているのみなので大変肥ってる。

非現実的なことだが労働を卑しいものと考えている。イスラエル、アラブでは、人を殺す事が平気で行われる。羊をばさっとやるように、また、水の取り合いが戦争になる。水を取られれば生きてゆけない。遊牧社会では、いちばん優秀な人が指導者にな



らなければならない。これを皆で投票で決める。この西アジアのやりかたが後にヨーロッパの選挙制度となった。ジンギスカンなどもそうして選ばれた人だと思います。この地方では井戸をカナートと云って、水源から70キロメートル位の長いトンネルを掘る。そうして50メートル置きに井戸口を作る。こうして水の確保をしている。食べ物がないでも一週間は生きられるが水がなければ二日しか生きられない。飲めない人は死ぬ。ひと思いに殺す、それが慈悲の行為とされる。殺す事がなんでもないように行われる。500人の単位でこう云った事が行われる。遅い人々である。

動物は人間の為にあると云う感覚が、旧約聖書にもありヨーロッパにもある。東洋では動物を殺さなくても生きていける、牛も使役には使うが殺さなくても良い。西アジアとの違いがそこにある。例として蛇について春、木の目が出る時冬眠から目覚め土を耕すと出てくる。そのため生産力のシンボルとして東洋人は見る。

ギリシャのメディウスもそれである。蛇を生命の守り神としている。西アジアでは一神教を信じ、他の存在を認めない。東洋ではあらゆるものを自分の中に取り込んでしまう。お盆の行事は仏教にはないのだが、亡くなった人が帰って来るといふ。それは人情がそうさせる。

日本の仏教はインドのものではなく、包容力のあ

るものとなっている。麻原教祖が最終解脱者だと云っているが信者から全てをお布施として要求しているが、仏教ではそんな事を教えてはいない。信者が困らない程度の範囲のお布施をするように教えている。

アショカ王は、仏教を広めた人であるが他の宗教も認めた。相手があってこそ墮落しないという考えである。西アジアでは他の存在を認めない。砂漠を一人歩きすると、一人だから意見の合わない事はないもの大変なことがあり、人は生かされているとしみじみ感ずる事があります。

我々は木を切り動物を殺す事もあるが、自然と人と共存することを考えて行かなければならない。古代の人々には動物を殺せば、自然のバランスが崩れると考えていたように思われるところがあり、現代の文明があながち進んでいるとは云えないように思う。

3000年前には、水洗便所があった。排泄物を水路に流し、これを25メートル位のプールに集め浄化しインダス川に流し、かすを乾燥して肥料にしていたようである。

ローマにも水洗便所があったようだが、ナポレオンの時代のパリでは窓から汚物を放出していたようで、法律で放出するときは3回吹呼する事が決められている。パリの蚤の市で私が紫のきれいな焼き物を買った。ホテルの人が何にするのですかと聞くので、花瓶にするかというと、それはトイレの壺でこれに腰掛けて用をたしたあと放出したものです、と云われ捨てるわけにも行かず持ってきてあります。3000年前の方が進んでいたと云えます。

一人旅ではいろいろの人からの愛情をうけることがあります。インドで30メートルのポプラの木から梯子が滑って落ちた事がありました。怪我をしまして、村の人が診療所の馬の医者がいるからとの事

で手術を受ける事になった。馬の医者ではと思ったが、湯を沸かしたり時間が掛かっている間に、幸い村長さんが6キロメートルも離れたところにいる内科の医者をつれてきてくれて、この人の診察を受け助かった事がある。

我々は一人で生きている訳ではない。お互い愛情を与えてやらなければならない。インドでは、自動車の運転手は身分が低い、私は運転手を食事に誘う、遠慮するが喜ばれる。帰国するとき、飛行場まで送ってきた運転手が、飛行機が出るまで見送るといって帰らない。300キロも離れている家に帰るには、夜になってしまう、前照灯のない車では危ないから早く帰るようにと云っても行かないので、お父さんやお母さんが心配するよ、君が無事に帰る事が親孝行だと云ってやると、涙を流して抱きついてくる。

大事なことは、全ての人を愛すること、恩に報いて旅をし、人に愛情を与えることだ。それは必ず戻ってくるものです。物では限界があります。

(以上文責編集子)



\*おめでとう御座います

平成8年5月叙勲



勳五等瑞宝章  
平松 金一 様

アスファルト混合物製造販売業振興功労

日本アスファルト合材協会理事

専門：道路舗装、建設発生材のリサイクル事業

道路舗装の必要性が急速に高まった時期に、トラックを改造した連続ミキサーを試作し試験舗装を施工。昭和38年には県下のトップを切ってタインスタビライザーを購入、現地混合を施工。昭和54年静岡県アスファルト合材協会設立とともに会長に就任、さらに日本合材協会連合会の理事として道路建設事業発展に努められた。また、アスファルト廃材のリサイクル化に取り組み県下で初めての企業化。また各種講習会を計画立案し、自ら講師としてあたるなど、業界の技術力向上と技術者育成に大きく貢献した功績で叙勲されました。

新規加入会員紹介 1:生年月日 2:自宅 3:部門 4:合格年月日 5:勤務先



金原 博厚

1: 1933.6.21  
2: 豊田町加茂370-7  
0538-34-9962  
3: 農業  
4: 1976年  
5: 吉田測量設計(株)



高尾 和宏

1: 1937.7.25  
2: 静岡県下島615-17  
054-237-5871  
3: 林業  
4: 1994年  
5: 静岡県農政部  
農政企画課検査室



田副 直樹

1: 1950.10.5  
2: 富士市久澤2-6-11  
0545-72-2439  
3: 電気・電子  
4: 1996年  
5: 中部電力  
浜岡原子力発電所



鈴木 康一

1: 1932.5.1  
2: 浜松市寺島町283  
053-454-1002  
3: 繊維  
4: 1964年  
5:



渡邊 良和

1: 1953.11.14  
2: 金谷町竹下154-1  
0547-46-2201  
3: 建設  
4: 1996年  
5: 静岡県  
浜松土木事務所

お知らせ

☆年会費納入のお願い(会費6,000円/年)

まだ年会費を納めていない方は7月10日までに下記会計あて納入願います(7月の例会に出席予定の方は当日でも結構です。)

振込口座: 静岡銀行 登呂支店 普通預金 0340870 静岡県技術士協会  
会計担当 寺田 洋子 (054-285-0549)

☆20回全国技術士会大会記念品、静岡県技術士協会創立30周年記念品として作りましたいずれもネクタイピン、カフスが数個ずつ在庫がありますので希望者は石川専務理事宛(054-643-4192)ご連絡下さい。(いずれも4,000円)

☆日本技術士会中部技術士会名簿(平成7年度版)

約500名の会員の名簿の在庫がありますので希望者は石川専務理事宛ご連絡下さい。 価格1,000円

ご冥福をお祈り  
申し上げます



小山 俊吉 様  
(経営工学)

H8.4.28ご逝去

編集委員



海野 泰一  
(農業)



金澤 啓悟  
(林業)



森 稔夫  
(電気・電子)

編集後記

1996年度がスタートしました。昨年は協会30周年のイベントが盛大に行われましたが、本年から次の40周年に向かって、新しい歩みを始めていくことになりました。新役員に変わりましたが、宜しくご協力の程お願い申し上げます。前期は本誌も新しく体裁が整えられ、また質の高い編集にご努力されました前役員の皆様に厚く御礼申し上げます。今回は総会関係の記事が主体となりましたが、今後は、皆様方の参考になり又興味が湧く内容のものにして行きたいと、願っております。是非皆様のご意見、ご投稿をお寄せ下さい。(編集子、金沢啓悟、海野泰一、森稔夫)